

<平成 30 年度 議会報告会記録>

[日 時] 平成 30 年 11 月 7 日(水) 午後 6 時 30 分～

[会 場] 栄町コミセン

[参加者数] 13 名

[担 当 者] 2 班：◎岡野、○水間、日里、宇治、関野、小林 (◎班長、○副班長)

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備 考
(1) 富良野道路について ・国の事業なのになぜ富良野市で負担するのか。	(1) ・富良野市の記念行事として説明。祝賀会、ウォーキング大会等の開催費用として、実行委員会へ交付した。	
(2) 議会の傍聴について ・傍聴人を増やす取り組みは。 ・インターネットの音と画像が合っていない。	(2) ・議会でも検討している。数年前からインターネット中継を行っている。議会を身近にする事が大切なので、議会広報などで周知していきたい。 ・6月からユーストリームからユーチューブに替えたがシステムの不具合が生じ今、部局の方で調べながら調整している。	
(3) 農業次世代人材投資事業について ・農業次世代人材投資事業とは何か。	(3) ・新規就農者の経営の早期安定を図るための交付金。	
(4) 災害対策について ・停電時、水道が止まるという話があったが ・8月16日洪水警報が出たが、水かさが増えていなかったこれはなぜ、布部の測る所の観測水位を下げたから	(4) ・市の水道の断水はなく、広報車にて周知した。 水道が止まるという話は、市の情報ではなく、うわさ話で、誤報である。 ・3年前の大雨で、国が上流の観測水位を下げた事により、住民の皆さんに不安をおおる様な事になった、今後検	

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備考
<p>で、検証をすべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画で、停電の対応も必要ではないか。 	<p>討する様伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大停電は全くの想定外、担当部局からの伝達方法等課題として受け止める。 	
<p>(5) 鉄路について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は残すべき、3路線を持つ自治体であり、東鹿越をそのままにしておくのはおかしい。又、議会として目に見える動きをしてほしい。 	<p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会として、6月に国に意見書を出している。東鹿越の代替案も出てきているが、三者協議の場で検討中である。創意工夫をし、何か行動を起こさなければならないと思っている。市民生活、地域経済含め、議会で話したい。方向性を含め、もう少し時間を頂きたい。 	
<p>(6) 北の峰・御料地区の開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北の峰・御料地区の開発は。 	<p>(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さ制限、色の制限等を盛り込み、富良野らしさを保つために条例をつくった。 	